



## 絵はがき昭和紀行

博物館には、市内で使われていた生活道具、発掘調査で出土した土器片、地元画家の作品など、種類も時代もさまざまな資料が收藏されています。その中でも観光蒲郡らしい資料の一例が、絵はがきです。

インスタ映えという流行語に象徴されるように、現代ではスマホやデジカメで撮影した事物をSNSや動画サイトで瞬時に共有することができず。しかし、昭和30年代頃までは、カメラは一般家庭においてまだまだ高級品でした。訪れた際の天候や季節にも左右されず、旅先の景色を安価で送ったり持ち帰ったりできる絵はがきは、絶好のお土産として買い求められました。

博物館に收藏されている絵はがきの多くは、国内各地の名勝・風景

を題材としたものですが、地元の旅館や書店などが発行した、竹島・三谷・西浦などの風景絵はがきセットも少なからずあり、昔の蒲郡の様子を知ることができる貴重な資料となっています。

2階ロビーで平成31年3月末まで開催中の「絵はがき昭和紀行」では、三河湾国定公園指定60周年にあわせて、国定公園指定以降に発行された蒲郡地域の絵はがきをはじめ、全国各地の国立公園・国定公園を題材とした絵はがきを選んで紹介しています。ロープウェイや遊園地、プラネタリウムなど、昭和30年代にオープンした蒲郡のかつての観光名所を写真パネルで巡ることもできます。ぜひご覧下さい。



絵はがき「乃木將軍像とロープウェイ」  
弘法山～乃木山間を約3分間で結んでいました

## 見えた！

### 星の海の竜宮城

長い夜道をとぼとぼ歩き、闇の中にようやく目的の灯が見えたとき、その一点の光はなんと暖かく、心強く輝いて見えることでしょう！

3月1日、宇宙を航行中の小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウの撮影に成功したとJAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)から発表がありました。平成26年12月3日に打ち上げられ、3年以上宇宙を駆けてようやく、搭載したカメラで直接姿をとらえることができること

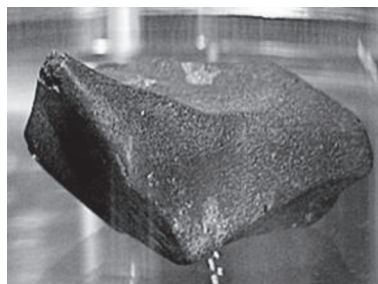
まで目的地に近づいた「はやぶさ2」。ウェブサイトに掲載された写真のなかのリュウグウは、黒い四角の中にポツンと浮かぶ白い点に過ぎませんでしたが、はやぶさ2を応援する多くの人々の目にはきっと、美しく輝いて見えたに違いありません。

**翼よ、あれがリュウグウの灯だ**  
とはいえ実際には、小惑星リュウグウはかなり暗い地味な天体であると予想されています。「炭素質隕石」という黒っぽい隕石と同じような物質でできていると推定されているのです。

生命の海科学館には、炭素質隕石の一種であるマーチソン隕石が展示されています。子どもの握りこぶしほどの大きさで、どこから見ても真っ黒！ですがこれまでの研究から、46億年前

地球が誕生したころにできた石であり、実は内部に大きじ一杯ほどの水が含まれていることが分かっています。はやぶさ2のリュウグウ観測が進み、予定通りそのかけらを地球に持ち帰ることができれば、地球になぜ海があるのかを解き明かす、重要な手がかりが得られるはずと考えられています。

はやぶさ2は、早ければ6月中旬にリュウグウに到着する予定です。到着の第一報を、多くのファンと一緒に心待ちにしています。



マーチソン隕石

海と生命の源だと思うと、黒々とした地味な塊が美しい宝物に見えるから不思議です。

はやぶさ2とリュウグウとの距離がリアルタイムで見られるよ

はやぶさ2プロジェクト [検索](#)